

出水だより

防災まちづくり版 第六号

発行
出水住民福祉
連合協議会
出水区自主防災会

災害に強いまちの実現に向けて

細い道を広げる整備が 各所で進んでいます。

出学区内には、こみち（幅の狭い道）がたくさんあります。こみちは、風通しや日当たりなどの住環境に影響があるだけでなく、災害時には消

火・避難・救助の支障になることがあります。

そこで、道路後退部分を、拡幅・京都市に寄付することにより、道路

空間を確保する事業を令和6年度から実施し、安全な市街地のまちづくりを推進しています。

こみちに面する敷地を所有する方々に京都市職員が意向調査に伺いました。ポストに投函した資料をご覧いただいた方、アンケートにお答えいただいた方、ご対面でお話いただいた方、ご協力いただきました皆さまに御礼申し上げます。

こうした取組を経て、出学区内の2か所で沿道の所有者の協力をいただき、左上の写真のとおり、道路の拡幅整備が完成しました。

今後も、引き続き、みんなが安全に避難できるまちを目指していきます。

家の前のみちの拡幅について、少し話を聞いてみてもよいという方は、ぜひ京都市までお問い合わせください。



天秤町



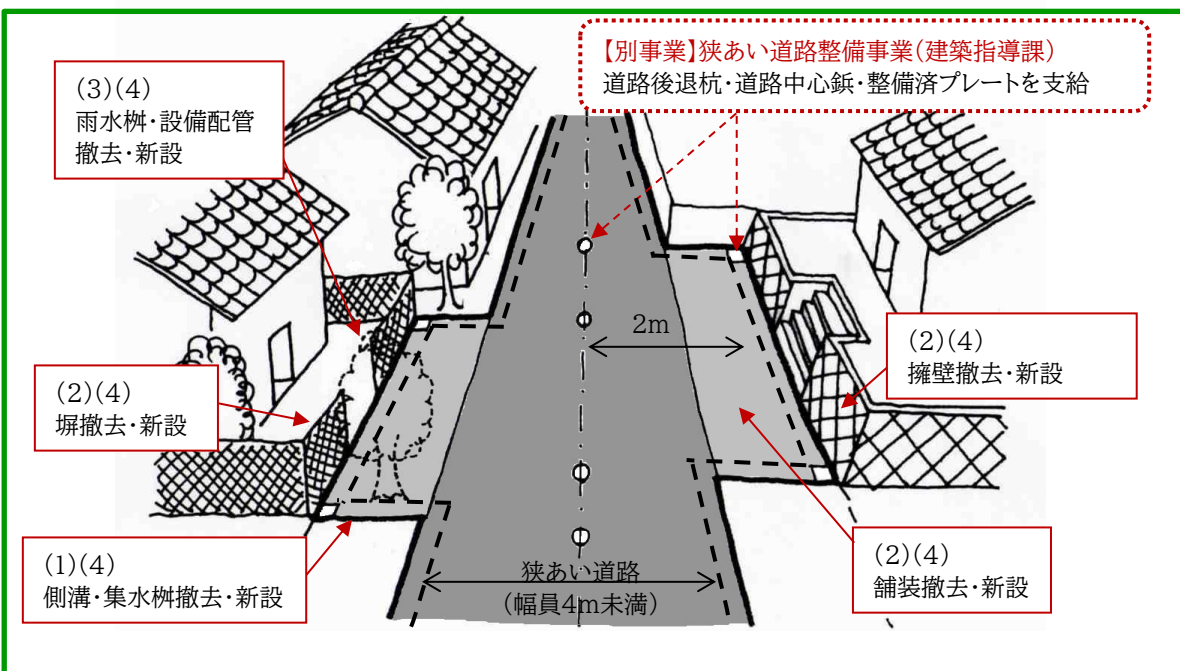
浮田町



密集市街地のこみち改善事業とは

幅員4m未満の道路に面した敷地では、建築に際して建築物や門・塀などを道路の中心線から2m後退するよう義務付けられています。しかし、私的利用（駐輪場や花壇）は制限の対象ではなく、道路空間が広がらない現状があります。

そこで、道路後退部分を、拡幅・京都市に寄付する場合に、整備費用を補助する制度です。

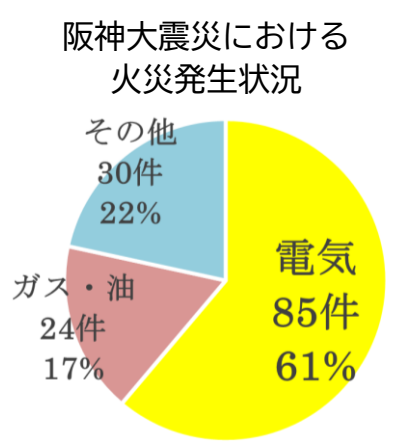


出水学区の安全・安心を守る『補助金』あります！

震災時は
通電火災に
ご注意ください！



阪神淡路大震災や東日本大震災で発生した火災の半数以上が、電気による火災と言われています。震災時に発生する電気火災のひとつに、「通電火災」があります。通電火災を防ぐためには、感震ブレーカーが効果的です。感震ブレーカーは、地震の揺れをセンサーが感知し、ブレーカーやコンセント等の電気を自動的に止める器具です。



※出火原因が特定されたものに限る。

地震や火災から京の地域・すまいを守る

感震ブレーカー

大地震で発生した火災の過半数が電気火災！
エアコン・IHヒーター・ガスレンジなど古くなった分電盤の更新時がチャンス！
※ 京都府の補助金があります！

昭和56年以前の本造住宅を対象に、感震ブレーカーの設置工費を最大で5万円補助しています。

通電火災に注意！
大地震の時、電気製品の電源コードなどが損傷することがあり、この状態で停電から復旧、再通電すると発熱発火に繋がります。
※ ほかにも、ストーブが転倒したまま再通電し、洗濯物に燃れて出火するなど、様々な事例があります

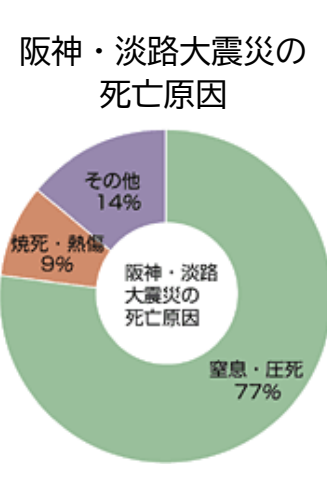
対策には感震ブレーカー！
通電火災を防ぐためには、避難の時にブレーカーを切ることが効果的です。しかし、非常時に必ず操作できるとは限りません。
感震ブレーカーは、センサーが地震の揺れを感知し、電気を自動的に止める器具です。
※ 震度5以上の揺れを感知した数分後に、自動遮断します

補助金の詳細は裏面をご覧ください ▶▶

今年こそ、
すまいの
耐震化！



阪神・淡路大震災で亡くなった方の原因は、「圧死」の方が大部分（約3/4）を占めています。死亡原因として最も多い「圧死」を減らすためには、家屋の耐震性強化と家具転倒防止に取り組むことが大切です。建物の耐震化がなかなか難しいという方も、部屋の中に頑丈なシエルターを設置することで、建物が倒壊しても命を守る避難空間を作ることができます。



今年こそ、すまいの耐震化！

まのちの匠

耐震・防火改修工事費を補助します

令和7年度まで
期間限定
「まのちの匠」がより利用しやすく！

令和7年度
申込期間
2025年4月14日（日）▶2026年1月31日（日）

本格改修 最大200万円
木造住宅
屋根の軽量化など
簡易改修 最大40万円
最初のちを守る

京町家
土台や柱の修繕など
簡易改修 最大60万円
最大300万円

075-744-1631
安心すまいセンター
MIYAKO KOSHI SUMAI CENTER

京都府 京都市 東山区 南禅寺1-1-1
075-744-1631
受付時間 9時30分～17時59分（土曜・祭日・年末年始は休館）

古い木造建物を除却したい！
身近な防災ひろばを整備したい！
古いブロック塀を改善したい！
路地奥からの逃げ道が欲しい！
袋路の入口を安全にしたい！

出水学区には、たくさんの方の路地や傷んだ建物があり、地震時などの避難・消火・救助に支障をきたすおそれがあります。それぞれの路地の特性に応じた対応がいざという時の命を守ります。



【ひろばの整備後】
傷んだ木造建物を解体して、その跡地に防災ひろばを設置（中京区）



袋路の多くに扉を設置（出水学区内）

総合防災訓練を実施！
初開催！「防災まつり」も同日に

12月7日に総合防災訓練を実施、今回は、初めての試みとして「楽しく防災」がテーマの「防災まつり」を併せて開催しました。防災訓練164名、防災まつりには小学生だけで約100名、中学生は運営のお手伝い、小さなお子さんや一般参加の皆さんなど多数が参加。地域の中でお互いが知り合い「顔の見える関係」を作っておくことが「いつ起こるか分からない災害時の大きな力」になります。ご参加いただいた皆様の温かさを感じた一日でした。



▲キッチンカーも大盛況！
バケツリレーで競争！▶